

## LEDユニットについて

- ・この器具のLEDユニットの交換はできません。あらかじめご了承ください。
- ・無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。火災・発熱・器具破損の原因になります。
- ・この器具のLEDユニットの寿命は、30℃以下の環境・1日10時間点灯で約40,000時間です。
- ・LEDの明るさ、光色には個体差があります。あらかじめご了承ください。

## 照明器具ご使用についての安全上のご注意

## 警告

	<b>感電のおそれがあります</b> ◇器具の交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。 ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。	
	<b>感電・火災のおそれがあります</b> ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。	
	<b>火災のおそれがあります</b> ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。	

## 注意

- ◇器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、着脱、がないかお調べください。
- ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となることがあります。絶対になさらないでください。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C8105-1解説による）

## 保守とお手入れ

**注意** 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

## お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

## アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

## お客様相談窓口

ナビダイヤル 0570-550-575  
 （全国共通番号）

受付時間（土日祝を除く）10:00～17:00

- 土日祝・長期休暇・YAMAGIWA名古屋、YAMAGIWA大阪の定休日（一部地域のみ）を除きます。おかけ間違いのないようお願いいたします。

通話料はお客様の負担となります  
 PHSからは接続できません

## お問い合わせサイト

<http://www.yamagiwa.co.jp/contact>

## 取扱説明書

systemX LED version S designed by Ross Lovegrove



このたびは、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

## 目次

- 1ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2ページ：定格表 & 各部名称
- 3ページ：取付方法
- 4ページ：LEDユニットについて・照明器具ご使用についての安全上のご注意  
保守とお手入れ・アフターサービス

## 照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

## 警告

	<b>火災のおそれがあります</b> ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。	
	<b>落下によるけがのおそれがあります</b> ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。	
	<b>感電のおそれがあります</b> ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇器具の取付けの際には、必ず電源を切ってください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。	
	<b>落下によるけがのおそれがあります</b> ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取付けしないでください。	

## 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取付の際は、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。**メッキや塗装の変色や、さびの原因**となります。
- ◇アース工事が必要な器具ですので、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。**感電・火災の原因**となります。尚、100Vでご使用の場合はアース工事は必要ありません。
- ◇周囲環境温度は0℃～35℃の間でご使用ください。




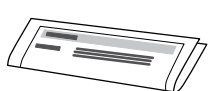
## お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

## 定格表

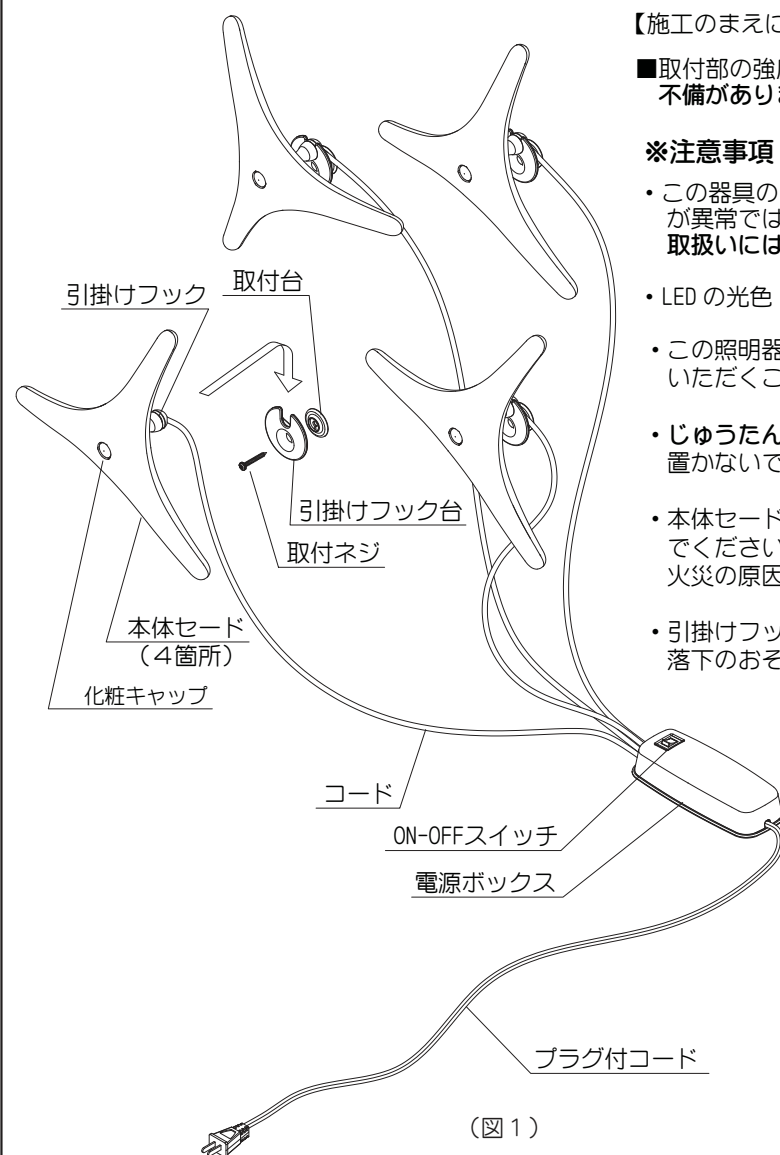
カタログ番号	型番	使用電圧	消費電力	使用光源 定格光束	色温度	演色性	質量
K-622M	OAKU-01K2-4M	AC100V	28W	LED 2400lm	3000K (LED)	Ra90	2.5kg
K-622B	OAKU-01K2-4B						
K-622T	OAKU-01K2-4T						

## ■同梱付属品■

引掛けフック台	取付台	取付木ネジ (φ3.5)	取扱説明書 (この説明書)
 4個	 4個	 4個	

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

## 各部名称



(図1)

### 【施工のまえに】

■取付部の強度は器具質量に十分耐えられるようにしてください。  
不備がありますと器具落下の原因となります。

### ※注意事項

- この器具のコードは特性上くせがつきやすくなっておりませんが異常ではございません。取扱いには注意してください。
- LEDの光色・明るさには個体差があります。
- この照明器具は、床やテーブルに置いてご使用していただくこともできます。
- じゅうたん、布団、毛布などの上には電源ボックスを置かないでください。
- 本体セード・電源ボックスに布や紙などで覆ったりしないでください。火災の原因となります。
- 引掛けフックは取付の際、**確実に**はめ込んでください。落下のおそれがあります。

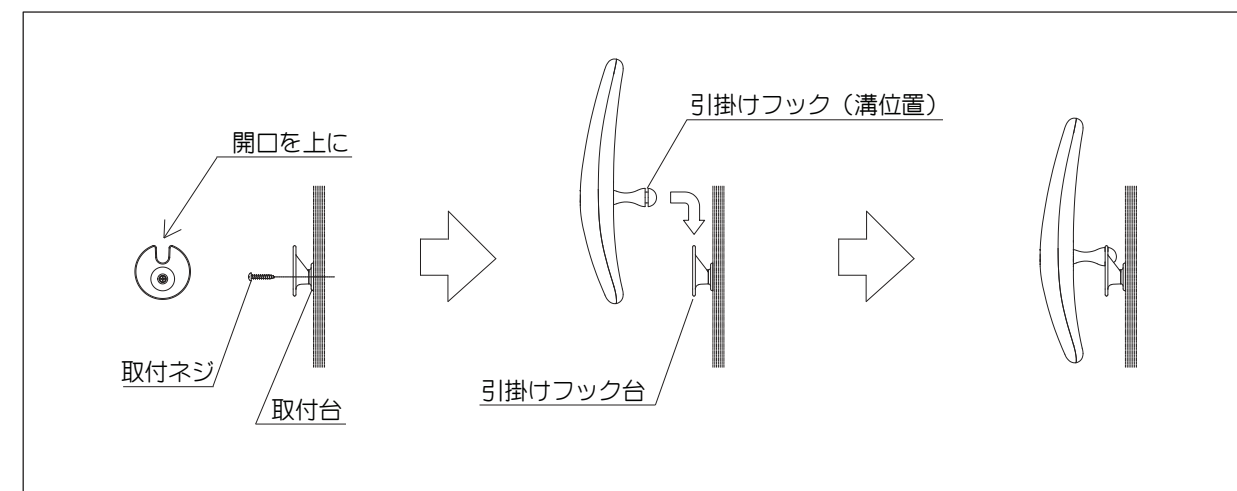
## 取付方法

### △注意

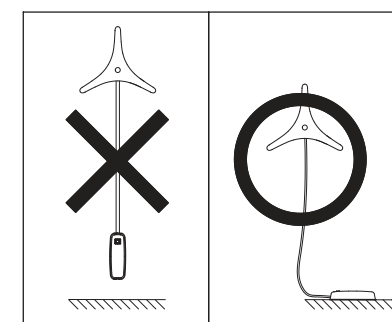
必ず電源を切って行ってください。  
感電・やけどの原因になります。

### ①壁面に灯体を取り付ける (図2)

- 取付台と引掛けフック台を、取付ける位置にあわせませす。この時、灯体と電源ボックスをつないでいるコードに張力が加わらないように、コードに余裕を持たせた位置に電源ボックスを設置してください。(図3)
- 引掛けフック台の向きに注意して、付属の取付ネジ、もしくは壁の材質・厚みに応じたビスやアンカーを用いて固定してください。取付台と引掛けフックは、凹凸の穴を合わせてフックの切カキが上を向く状態で、確実に締めてください。締め付けがゆるいとフックが回転し、灯体が落下するおそれがあります。
- 灯体の引掛けフックの溝に、引掛けフック台をはめ込みます。
- 電源ボックスを灯体の近くに置いて、コンセントにプラグを差し込み、ON-OFFスイッチで点灯させてください。



(図2)



(図3)